

組立・施工・取扱説明書

お客様保管用

モクプラボードルーバー

このたびは、当社商品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく施工していただくため、この「組立・施工・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合、保証対象外となります。

安全記号



警告

- 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷を負う可能性がある危険度が「高い」内容を示しています。



注意

- 取り扱いを誤った場合、使用者が中、軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の可能性があり危険度が「中、軽い」内容を示しています。

一般記号



ポイント

- 組み立て、施工手順で、特に注意して作業を進める必要がある内容を示しています。
- 注意して守っていただかないと、組み立て、施工が困難、あるいは強度不足のため、施工後不具合が発生する可能性がある内容を示しています。

組立・施工上のご注意

警告

- 風の強い場所、積雪の多い地域や地盤の弱い場所での施工には、控え柱等の補強が必要です。特に柱の固定を確実に行ってください。転倒など事故の原因となります。
- 屋上やがけの上など、商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。
- お子様が踏み台として使用し、転落事故につながる場所への設置は絶対にしてしないでください。
- 取扱説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。現場の地盤状態に合った基礎部の寸法(体積)にて施工し、安全を確保してください。
- 施工時、コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)や、コンクリート用湿和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)で塩素系や強アルカリ系のものは、絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。

注意

- 組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
- 工具、器具、保護具(作業服、保護帽、安全靴、安全帯、その他作業用身体保護具)などは、安全機能を十分に確認し、正しく使用してください。また不具合のあるものは使用しないでください。
- 必ず取扱説明書に従って正しく施工してください。正しい順序で施工されなかった場合には、商品の強度など性能が低下するほか、倒壊につながる場合があります。
- 梱包明細表で必要な部材、部品がすべて揃っているか確かめてから、組み立ててください。
- 壁、ブロック塀、ベランダ等に取り付ける場合、当該構造物(建物)の強度については、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 設置場所に正しく施工でき、不具合なく使用することができることを確認してください。
- 給湯、暖房機などの熱排気が商品で妨げられ建物内部にこもったり、適切な換気ができなくなるような場所には設置しないでください。
- 通路など、通行の妨げになる場所には設置しないでください。
- 給排水管などの地下埋設物に影響を与えないか位置を確認してから施工してください。
- 防犯上、不審者が踏み台として使用し、侵入が容易になるような場所には設置しないでください。
- 水はけの悪いと思われる場所には設置しないでください。
- 常に水や温水に触れたり水没する場所、また温泉やそれに類する水質に触れたり水没したりする場所には設置しないでください。
- 給湯、暖房機などの排気熱が直接商品に当たると被膜の劣化、はく離につながります。熱の影響のない場所に設置してください。
- アルミ製品は、鉄や銅など(ステンレス以外)の異種金属と直接接触すると、腐食する可能性があります。接触する場合は、ビニールテープを巻くか塗料を塗るなどの処理を行ってください。
- 腐食成分(塩素イオンなど)を多く含んでいる輸入木材の併用は避けてください。もし使用される場合は、必ずアルミと接触する部分の木材に塗装するなどの処理を行ってください。
- 商品が腐食する可能性のある接着剤や溶剤などの化学薬品に、接することがないように注意してください。
- 組み立て、施工時は、商品にキズがつかないように十分注意してください。
- 基礎は安全のため必要な強度を十分確保してください。
- 土地の高低にかかわらず、柱の埋め込み深さを十分確保してください。
- 組み立て、施工用のボルト、ビスは規定本数(当社指定純正品)を確実に締め付け、固定してください。
- 商品にバリがある場合は取り除いてください。特に切り詰めなど現場加工の場合は必ず行ってください。
- 組み立て、施工時に、雨水がたまらないように十分注意してください。
- 柱の水抜き穴は、モルタルなどで塞がないでください。
- 商品に雨水がたまらないように、適切な位置に水抜き穴をあけることをおすすめします。
- 組み立て、施工終了後は、施工時の汚れをきれいに取り除いてください。

組立・施工上のご注意

⚠ 注意

- 組み立て、施工時、商品にコンクリート(またはモルタル)の抽出液が付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性のため、施工後シミ、ムラなどが発生し、外観不良の原因になります。付着した場合は、速やかに水を含ませた布などでふき取ってください。
- コンクリートは製品に記載されている配合率や注意事項に従って使用してください。養生期間(4~7日)は十分に確保し、養生期間中は重量物をのせたり、振動させたり、物を立てかけたりしないでください。
- 組み立て、施工終了後は、必ず商品が正しく組み立てられているか確認してください。特にボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。
- 構造物、建築物の屋根などからの雪の落下を受けない位置に設置してください。
- 積雪のある地域では、雪により商品が倒壊しても危険がない場所に設置してください。
- 凍上する可能性のある寒冷地に設置する場合は、必ず凍上線の下まで基礎部を確保するように施工してください。
- 寒冷地でご使用になる場合は、柱に水抜き穴をあけて、柱用の穴に柱を立ててから、モルタルを入れてください。モルタルを入れてから柱を立てると、柱の内部に水がたまり、凍結破損の原因になることがあります。
- 商品の改造は絶対に行わないでください。商品の性能が落ち、強度不足による破損、倒壊の可能性があり危険です。
- 誤った使用を避けるため、組み立て、施工終了後、必ず取扱説明書はお施主様にお渡しして、取り扱いの注意、メンテナンスについて説明してください。

使用上のご注意

⚠ 警告

- アルミ製品は、高温になる場所では他の金属材料に比べて熱による変形が生じやすい材料です。商品の近くで火気を使用しないでください。
- フェンス、スクリーン等は、隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すりなどとしては使用しないでください。
- 運動具やお子様の遊具、踏み台、ふとんや洗濯物を干す等、目的以外の使用は絶対に行わないでください。
- 局部的に重い物をのせたり、立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。ポールなど投げつけたりしないでください。

⚠ 注意

- 商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃、荷重を与えると破損、倒壊事故の原因になります。絶対に行わないでください。
- 無理な荷重をかけないでください。商品の上で飛んだり、跳ねたりしないでください。ぶらさがったり、寄りかかたりしないでください。
- 商品の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。表面が変色する恐れがあります。
- 安全性の高い材料を使用しておりますが健康を害する恐れがありますので、小さなお子様やペットがなめたり、かじったりしないように注意してください。
- 商品の切り口に切断時のバリが残っている場合や、現場加工にともないささくれが発生する場合があります。手などにケガをしないように、取り扱いには十分注意してください。発見した場合は放置せず、施工店様に連絡してください。
- 商品を改造したり、穴をあけたり、当社オプション品、付属品以外の取り付けは避けてください。商品の性能が低下する可能性があり危険です。
- アルミ製品の表面にキズが付いたり、塗装はがれが生じると、商品の腐食や強度低下の原因になりますので、取り扱いには十分注意してください。
- 積雪のある地域では、必要に応じて早期に除雪してください。
- 安全のため、定期的に接合部のボルト、ナット、ビス等にゆるみがないか確認して使用してください。ゆるみがあれば締め直しを行ってください。お施主様でできない場合は施工店様に依頼し必ず直してください。
- 商品が破損したり、グラつく場合は、すぐに施工店様に連絡してください。破損したままで使用していると事故の原因となり危険です。

メンテナンスのご注意

◆汚れの程度と掃除方法

内容	用具	方法
軽い汚れの場合	柔らかい布 スポンジ 水	柔らかい布、スポンジで水ぶきした後、からぶきしてください。
ひどい汚れの場合	柔らかい布 中性洗剤	中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いしてください。その後、からぶきしてください。

◆お手入れのご注意

- お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。
- 金属ブラシ、金ペラ、スチールウール、目のあらい紙ヤスリなどは使用しないでください。
- 小石、砂などが付着したままこすると、アルミ表面にキズが付きます。あらかじめ取り除いてください。
- アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。
- 小さなキズでも早めに補修されることをおすすめします。水に濡れたときはからぶきしてください。
- 安全のため、定期的なガタツキがないか確認してご使用ください。
- 工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
- 定期的なお手入れにより、商品をいつまでも美しく保つことができます。

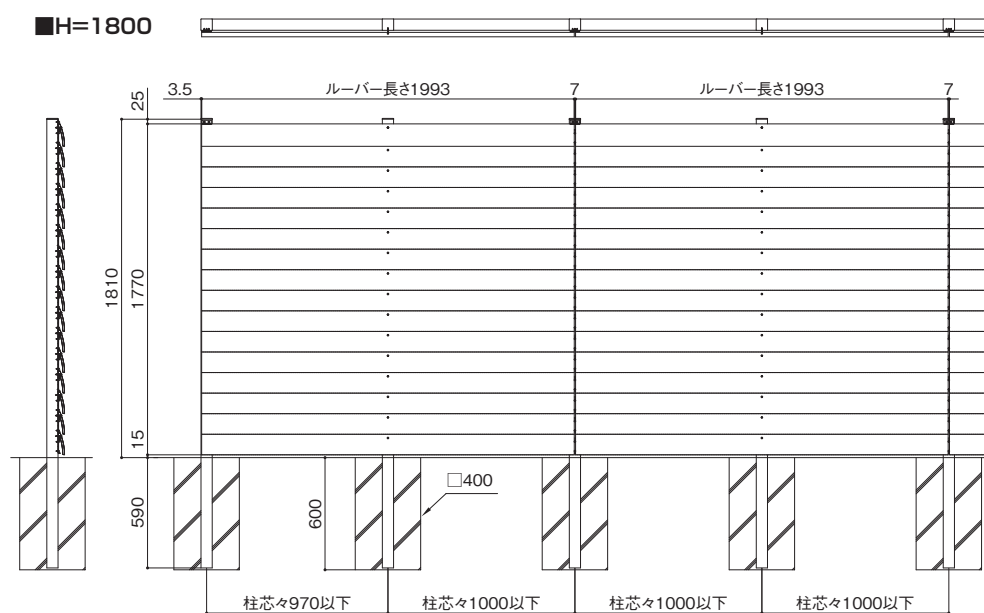
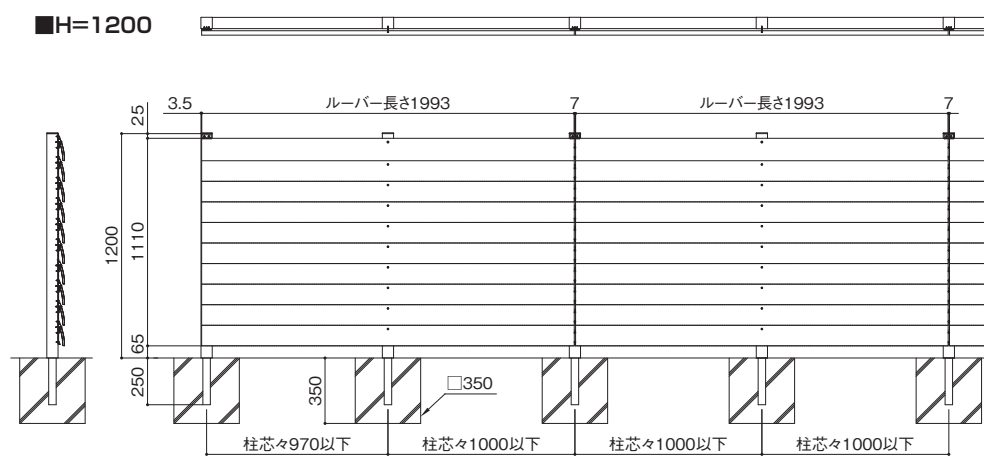
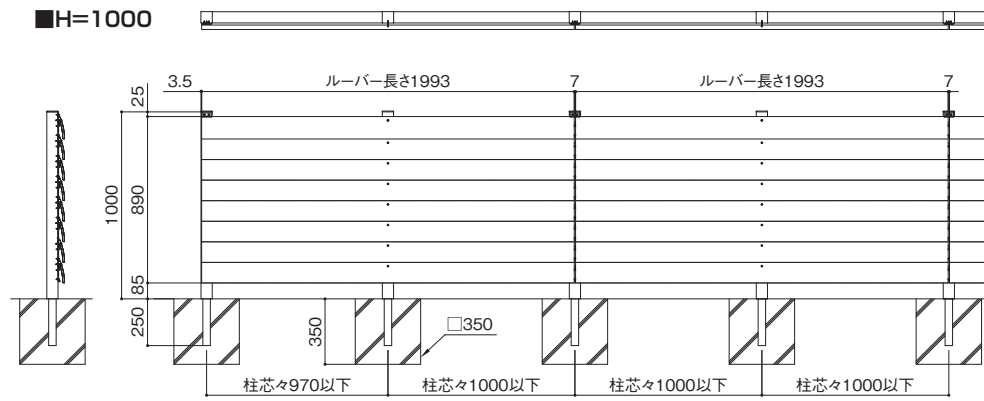
●お手入れ回数の目安

海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
年1~4回	年1~3回	年0.5~2回	年0.5~1回

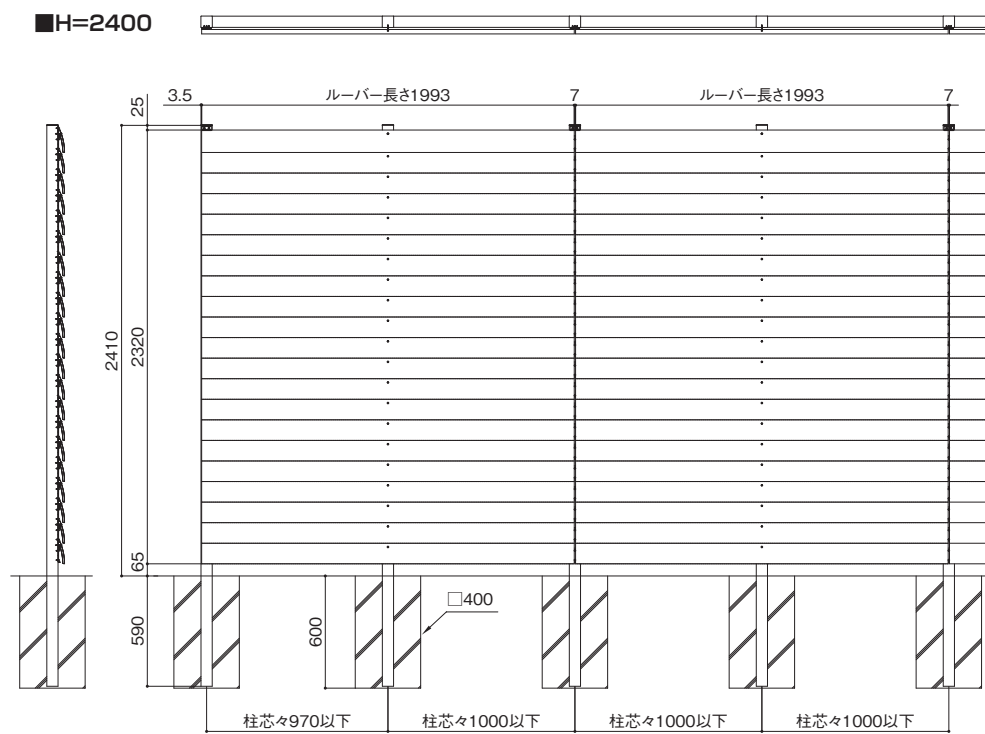
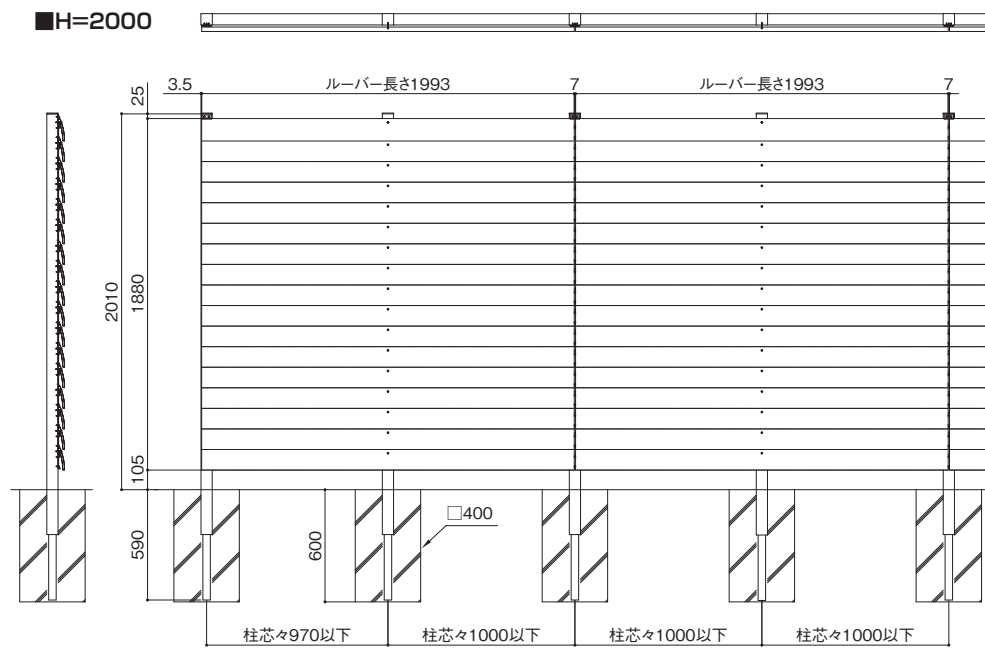
廃棄について

ご不要になった商品、また現場で発生しました残材等につきましては、各地域の条例等に従って正しく処分してください。

納まり図



納まり図

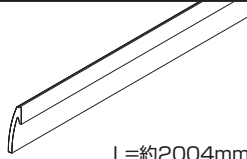


部品の確認

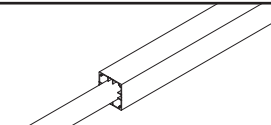

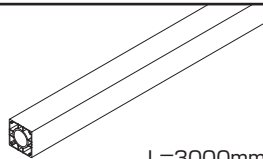
※数量は1商品当たりの数量です。
※各現場に合わせて必要数を拾い出してください。

■モクプラルーバー 梱包明細


◆モクプラボードルーバー

名称	姿 図	数 量
モクプラボードルーバー	 L=約2004mm	1



◆アルミ角柱 60角

名称	姿 図	数 量
H1000 H1200 H2000	 H1000 : L=1250mm H1200 : L=1450mm H2000 : L=2600mm	1
H1800	 L=2400mm	1
H2400	 L=3000mm	1

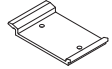

◆モクプラボード用胴縁 30×60

名称	姿 図	数 量
モクプラボード用胴縁 30×60	 L=1950mm	1



◆Lアングルセット

名称	姿 図	数 量
Lアングル		1
ビスセット	 アングル用スーパードリルネジφ4×19	4


◆固定部品セット

名称	姿 図	数 量
固定部品		5
ビスセット	 φ4×13なベセルドリリングビス	10


◆上部固定部品セット

名称	姿 図	数 量
上部固定部品		5
ビスセット	 φ4×13なベセルドリリングビス	10

◆スーパードリルネジ 4×35

名称	姿 図	数 量
ビスセット		11

◆組立・施工・取扱説明書

名称	姿 図	数 量
組立・施工・ 取扱説明書(本紙)		1

組立、施工

① ルーバー材の切断

施工前に必ずルーバー材を1993mmの長さにすべてカットしてください(連結部のすき間を7mmあけます)。

【図A】

⚠️ ご注意

- 切断はできるだけチップソーの外形が大きく歯数の少ないものを使用してください。木工用のチップソーであれば、仕上げ用よりも粗切り用が適します。
- カットの送り速度を早めにしてください。切断に時間がかかるとルーバー材の溶けの原因になります。
- 切断面のバリは、すべてカッター等で取り除いてください。

② 固定部品(最下段箇所)の取り付け

1) 取り付ける柱の選定【図B】

固定部品はすべての柱に付きません。右図を参照し、ルーバー材の両端部が納まる柱に取り付けます。

取り付けが必要な柱本数を拾い出してください。

○印の柱に取り付けます。

2) 最下段のルーバー材の固定部品の取り付け

1)で拾い出した柱に一番下段のルーバー材を納めるための固定部品を取り付けます。

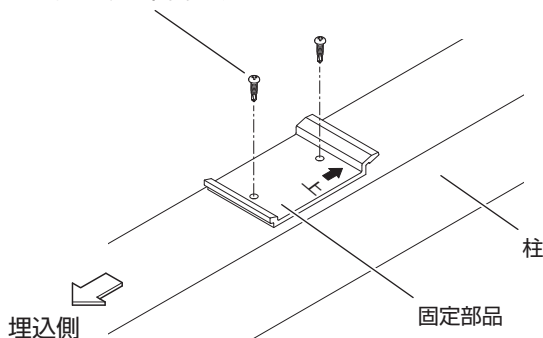
①柱の埋め込み側から右図を参照して下穴をあけてください。

【図C】

②固定部品をφ4×13なベセルドリリングビスで固定してください。【図D】

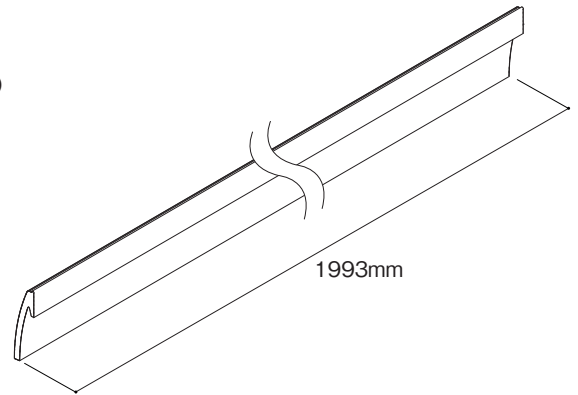
【図D】

φ4×13
なベセルドリリングビス

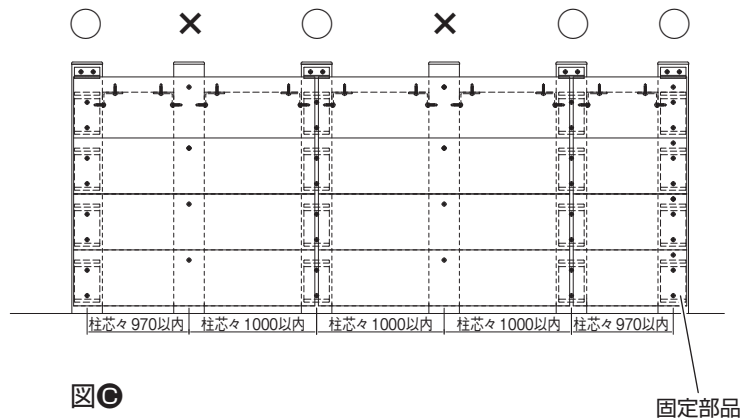


※部品には「上」の刻印があります。矢印が上に向くよう取り付けてください

【図A】



【図B】

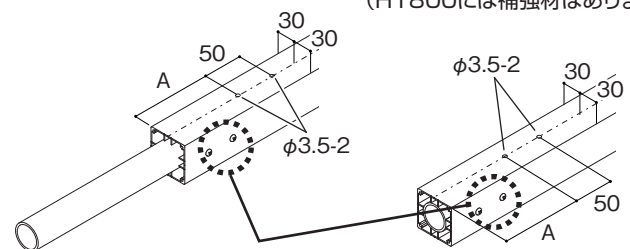


【図C】

H1000、1200、2000用柱

H1800、2400用柱

(H1800には補強材はありません)



※補強材固定のビスが側面にくるようしてください

高さ(H)	A(mm)
1000	105
1200	85
1800	625
2000	365
2400	675

💡 ポイント

基本納まりの最下段から、何段かすき間をあける場合は、1段当たりA寸法に110mm加算した寸法で加工してください。

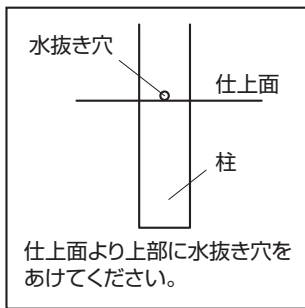
組立、施工

③ 柱の埋め込み

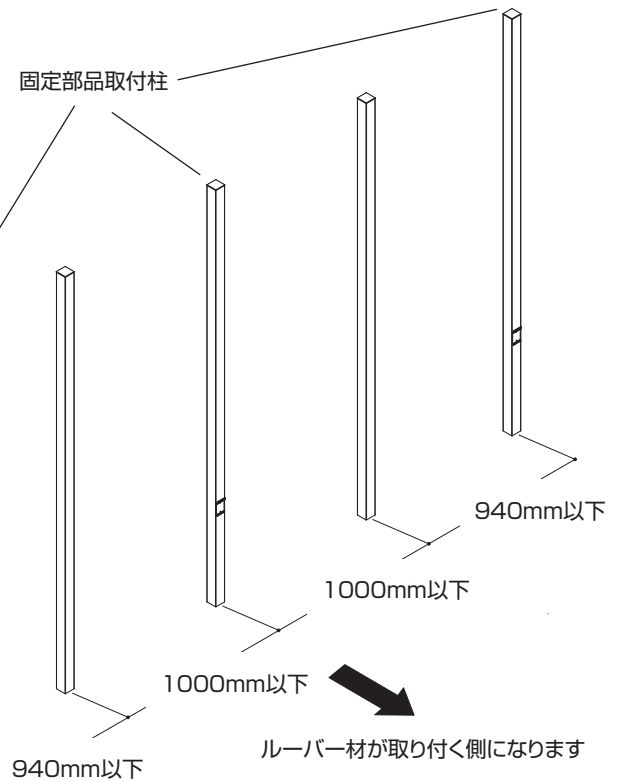
P.3~5の納まり図を参照し、柱の位置、レベルを確認し、柱を設置してください。【図E】

※②で固定部品を取り付けた柱の位置は、P.7の図を参照して設置してください。

※固定部品を取り付けていない柱は、補強材固定のビスが裏面になるように設置してください。



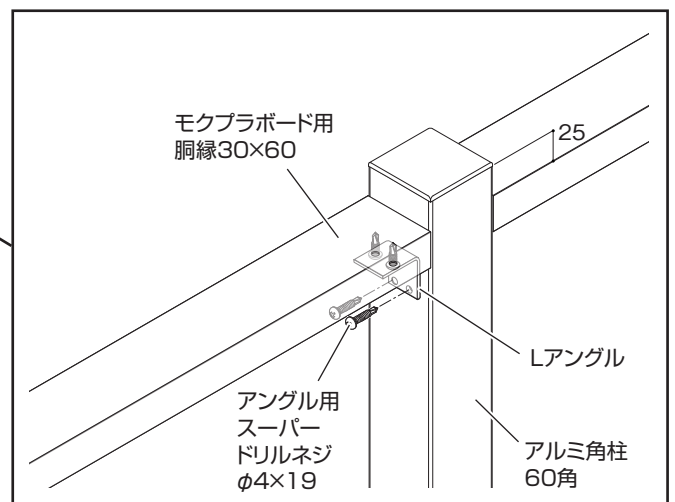
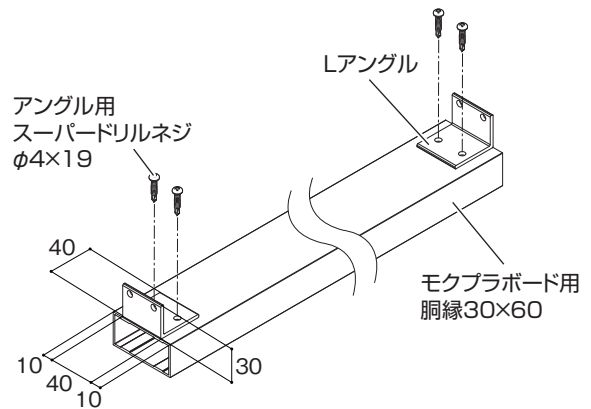
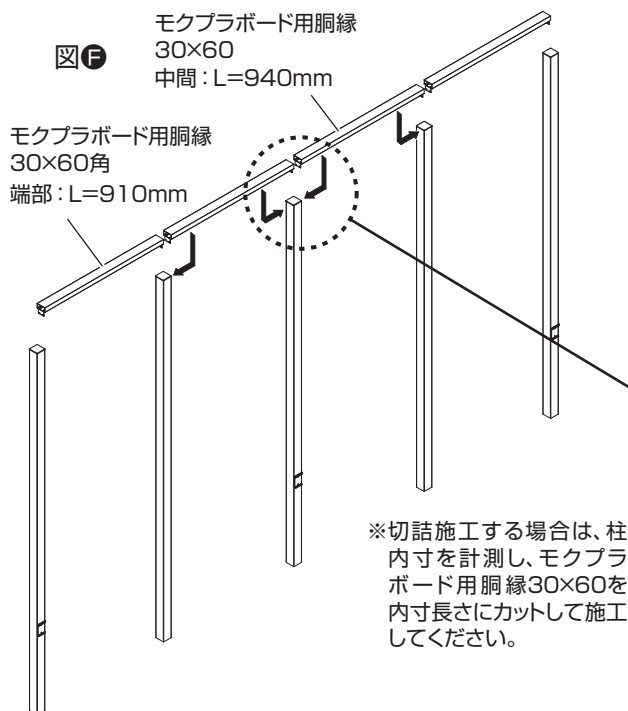
図E



※上図は2スパン(幅4000)を示します。

④ 上胴縁の固定

モクプラボード用胴縁30×60を柱間の寸法に合わせてカットし、Lアングルをモクプラボード用胴縁30×60の両端に付けてから、柱に下図およびP.5の標準納まり詳細図を参照して固定してください。【図F】



組立、施工

⑤ ルーバー材の取り付け

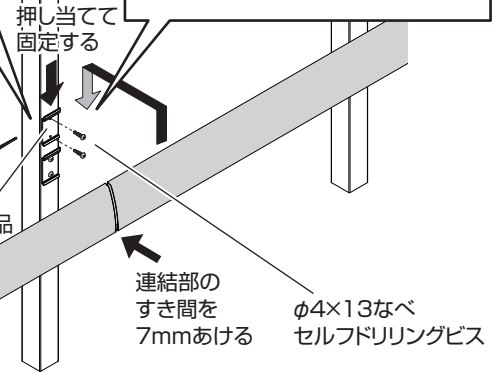
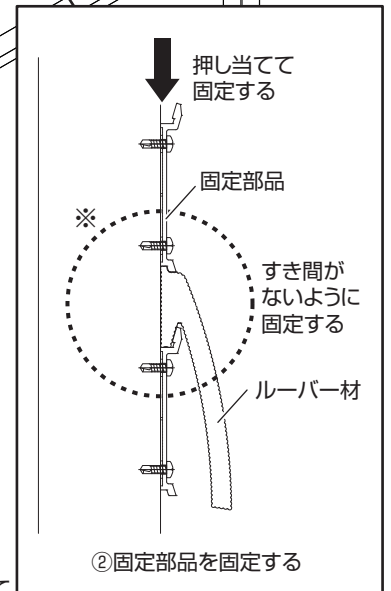
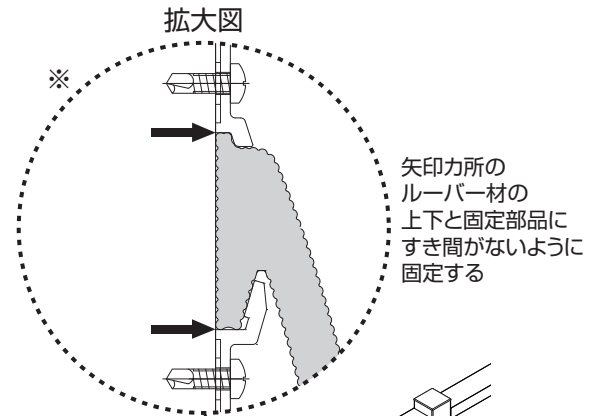
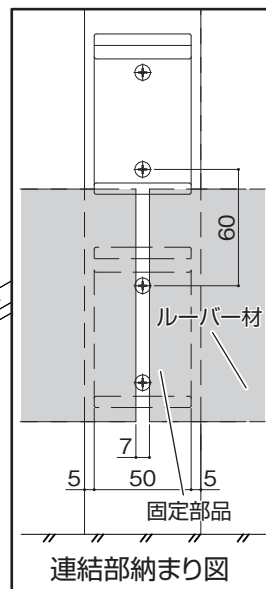
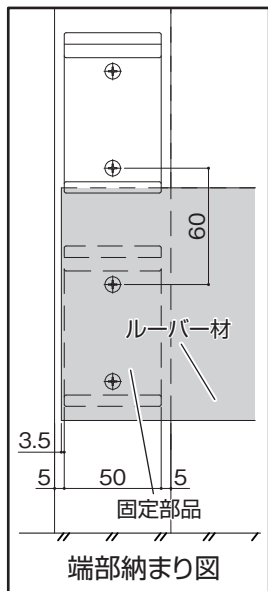
1) 固定部品の取り付け【図⑥】

- ① 最下段のルーバー材をすべて固定部品の上部にかけてください。
※ルーバー材の連結部のすき間は7mmあけてください。
- ② 固定部品をルーバー材の上部に上から押し当てて、柱の中央にφ4×13なべセルフドリリングビスで固定してください。
- ③ 下段から1段ずつ①②の作業を繰り返し行います。
必ず全スパンを通して下から1段ずつ積み上げる順序で行ってください。

⚠️ ご注意

固定部品とルーバー材にすき間があると、最上段のルーバー材の取り付けができなくなる場合があります。

図⑥



💡 ポイント

ルーバー材は、必ず全スパンを通して下から1段ずつ積み上げてください。

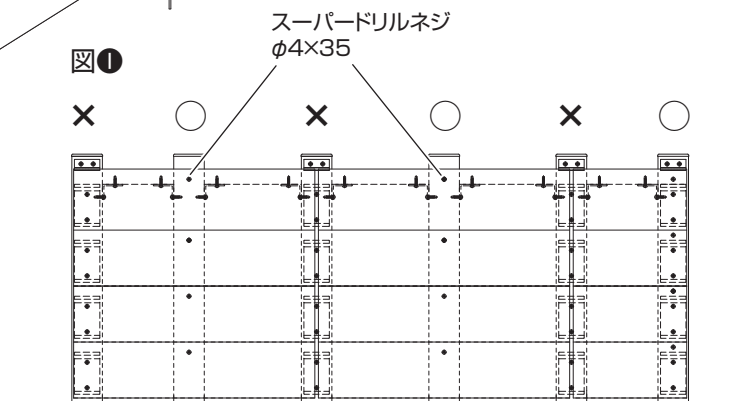
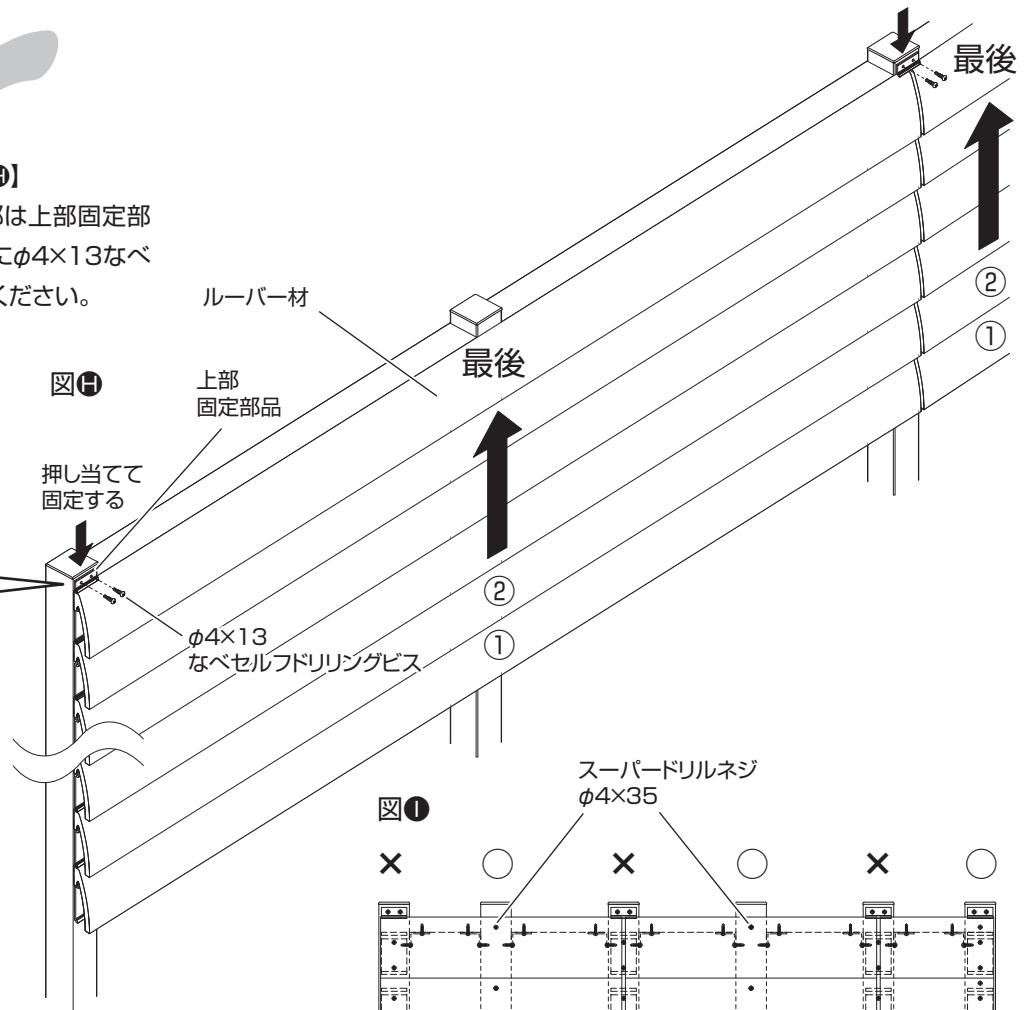
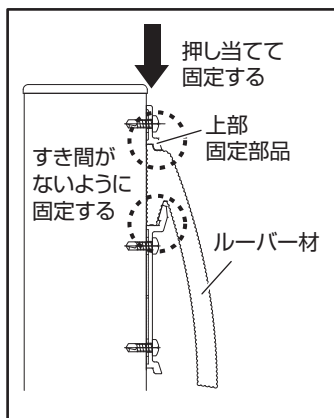
⚠️ ご注意

ルーバー材の連結部のすき間は、必ず7mmあけてください。環境の温度変化により、ルーバー材は伸縮します。すき間を設けないと反りの原因になります。

組立、施工

2) 上部固定部品の取り付け【図①】

最上段までできましたら、一番上部は上部固定部品を上から押し当てて柱の中央に $\phi 4 \times 13$ なべセルフドリリングビスで固定してください。



3) スーパードリルネジ $\phi 4 \times 35$ の固定

固定部品が取り付けしていない柱、および1スパンが1000mm未満の柱の片側がスーパードリルネジ $\phi 4 \times 35$ を取り付ける柱になります。

【図①】

※ルーバー材1枚当たり必ず1カ所ビス固定をします。

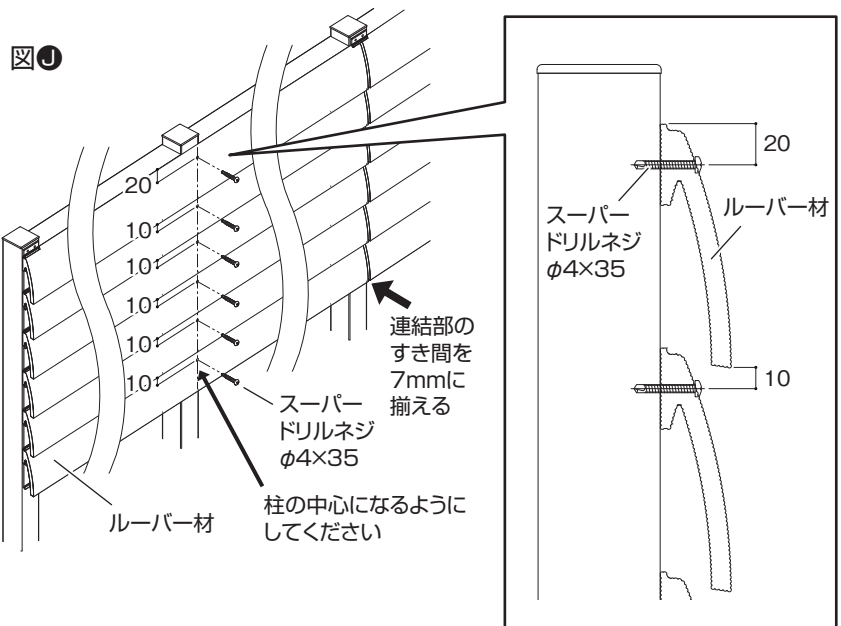
①ルーバー材の最下段から最上段までの連結部すき間を改めて7mmに揃えてください。

※左右にたたけばスライドして動きます。

②すき間を均等に調整後、図を参照し、ルーバー材に $\phi 4.5$ のキリで下穴加工をしてからスーパードリルネジ $\phi 4 \times 35$ でルーバー材を柱へ固定してください。【図①】

ポイント

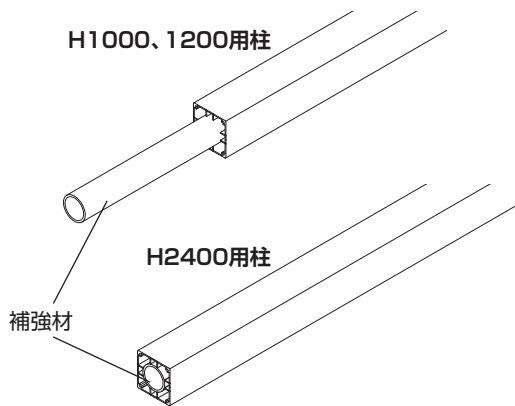
H1000、1200、2400のサイズについては、柱への下穴加工が必要になります。次ページを参照してください。



組立、施工

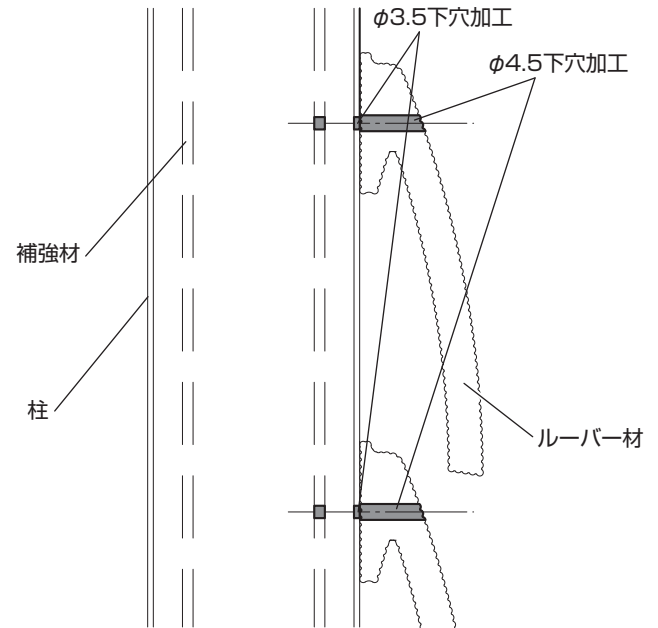
4) 柱および柱内補強材への下穴加工【図K】

右表の3サイズの柱には補強材が入っているため、スーパードリルネジφ4×35が取り付けできません。3)にてルーバー材に下穴をあけた後に、その下穴からGLから各長さまでφ3.5のキリで右図を参照し、下穴加工を施してください。



図K

高さ	GLから補強材が入っている長さ
H1000、H1200	350mm
H2400	1010mm



断面図

6 コーナー納まり

コーナーの場合はルーバー材の端部から柱の角まで3.5mmあけてください。【図L】

図L

